

2003年10月30日

各 位

会 社 名      ニチメン・日商岩井ホールディングス株式会社  
代表者名      代表取締役社長    西村 英俊  
(コード番号 2768 東証第1部 / 大証第1部)  
問合せ先      広 報 室 長    谷口 真一  
電話番号      0 3 - 5 4 4 6 - 1 0 6 1

### 孫会社の異動について

～ 日商岩井の豪州ミネラルサンド事業の再構築 ～

当社の子会社である日商岩井株式会社（以下、日商岩井）は、日商岩井の豪州子会社で、酸化チタンの原料等に用いられるミネラルサンド（イルメナイト、ルチール、ジルコン）を採掘・生産・販売する Nissho Iwai Mineral Sands グループ（以下、NIMSA）を、BeMaX Resources NL（以下、BeMaX）に合併させることで、BeMaX および Sons of Gwalia Ltd（以下、SGW：NIMSA との J/V パートナー）と基本合意し、詳細を詰めるための交渉に入りましたので報告いたします。

この合併が実現すると、この業界で40年以上の操業実績を持つNIMSAの設備・技術およびマーケティング・ノウハウと、世界有数のミネラルサンド埋蔵地域である マリーベイスン（Murray Basin）地区（豪州南東部）にBeMaXが保有する有望鉱区とを組み合わせることにより、シナジー効果が飛躍的に高まり、より高い事業価値の実現が可能となります。

尚、正式な合併は、これから実施される事業精査・評価の結果、BeMaX株主総会の承認、関係諸機関の許認可取得が条件となっております。

#### 1. 合併のメリット：

BeMaXは、世界有数のミネラルサンド鉱床が存在するマリーベイスン地区内、特に北部地域で確認されているミネラルサンド資源の半分以上確保することになる。

BeMaX は、NIMSA の保有する設備を利用可能となり、BeMaX がマリーベイスン地区で保有するポーンキャリー鉱区 (Pooncarie Project) の即時開発の実現と開発コストの大幅削減も同時に可能となる。

BeMaX は、チタニウム原料産業において世界需要の約 10% を生産することになり、より高いプレゼンスを確保できる。

## 2. 合併の基本条件：

この合併により日商岩井は、NIMSA 株式の対価として、現金および合併新会社 (新生 BeMaX) の株式の一部を受け取る予定ですが、株式譲渡方法、譲渡価額、決済方法等は現在交渉中です。

## 3. 合併契約の締結： 2003 年 12 月 (予定)

## 4. 今後の予定 (株式の譲渡)：

今後実施される事業精査・評価、BeMaX 株主総会での承認および許認可の取得を待って、2004 年 2 月頃を目標に株式譲渡を予定しています。

## 5. 業績予想に対する影響

本件は現在交渉中であり、譲渡価額等は未定ですので、既に公表している当社の 2004 年 3 月期業績見通しは、現時点では変更ありません。

### < 各社の概要 >

#### Nissho Iwai Mineral Sands グループ (詳細は添付補足資料参照)

本 社：オーストラリア、パース

代表者：武井正人

日商岩井 100% 子会社で、ミネラルサンドを採掘・生産・販売する鉱山会社グループ (現地では RZM/CABLE SANDS グループとして知られている)。

一部事業を SGW と J/V で行っている。

#### BeMaX Resources NL

本 社：オーストラリア、ブリスベーン

代表者：Stephen C. Everett

ASX (Australian Stock Exchange) 上場の探査会社で、豪州南東部マリーベイスン地区に大規模な鉱区権を保有している。筆頭株主は Cristal Australia Pty Ltd (本社：オーストラリア、ブリスベーン) で、サウジアラビアの酸化チタンメーカーである The National Titanium Dioxide Co Ltd の 100% 子会社。

### Sons of Gwalia Ltd

本 社：オーストラリア、パース

代表者：Peter Lalor

ASX 上場企業で、金、タンタルを製造販売する鉱山会社。

2001 年より NIMSA とジョイントベンチャー(50:50)でマリーベイスン地区にて Murray Basin Titanium Pty Ltd (ミネラルサンド生産事業) を運営中。

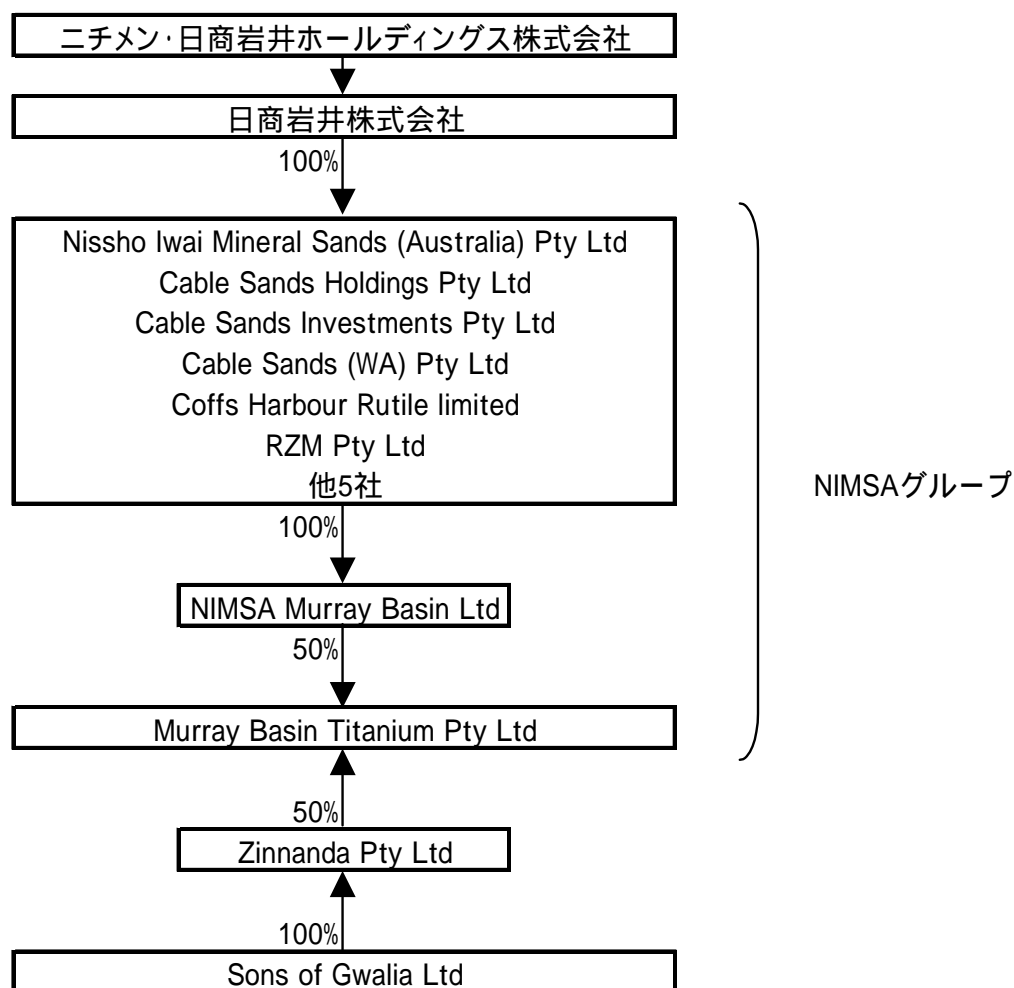
以上

## 補足資料

### 1. NIMSAグループ概要

|      |   |       |
|------|---|-------|
| 事業内容 | 鉱産資源のイルメナイト、ジルコン、ルチールの生産・販売                           |       |
| 株式   | 非上場   |       |
| 決算   | 12月   |       |
| 従業員  | 約200人   |       |
| 売り上げ | 約A\$80百万  |       |
| 主要鉱区 | 西豪州南西地区<br>MURRAY-BASIN地区（豪州南東部でVIC州，NSW州，SA州にまたがる地域） |       |
| 出向者  | CHAIRMAN & CEO  | 武井 正人 |
|      | CFO   | 浜田 英二 |

NIMSAグループ構成：



## 2. ミネラルサンド市場動向と NIMSA の市場占有率

ミネラルサンドとは、イルメナイト、ルチール、ジルコンで構成される鉱物の総称。イルメナイトとルチールはチタン原料であり、酸化チタン（白色顔料）、チタン金属、溶接棒溶剤等の原料となり、ジルコンは陶磁器釉薬、テレビブラウン管、耐火物、ジルコニア酸化物等の用途がある。

### イルメナイト

世界のイルメナイト生産量は約 850 万ト（酸化チタン換算で約 460 万ト）、南ア、カナダ、豪州の 3 カ国の生産量は合計約 650 万トと世界の生産量の 75% を占めており、NIMSA の市場占有率は約 4 % となっている。イルメナイトは、主として酸化チタン製造の原料として使用され、酸化チタンは、塗料、製紙、プラスチック、ゴム、その他の着色用白色顔料として消費されている。また、その生産は主に先進国に集中しており、北米、ヨーロッパ、アジア太平洋の順となっている。

### 天然ルチール

イルメナイトと同じチタン資源である天然ルチールの世界年間生産量は約 40 万ト（酸化チタン換算量も約 40 万ト）であり、豪州と南アでその 80% を占めている。NIMSA では、Sons of Gwalia 社との J/V で操業しているマリーベイスン地区にあるウイメン (Wemen) 鉱区を中心に、年間約 3 万トのルチールを生産・販売しており、市場占有率は約 6 %。天然ルチールの需要は、酸化チタン用約 17 万トン、金属チタン用約 8 万ト、溶接棒用約 15 万トと推定されている。過去には塩素法用酸化チタンの主原料であったが、現在は塩素法用酸化チタン製造における溶解助材としての用途に使用されている。

### ジルコン

世界の需要量が約 100 万トで、NIMSA での生産・販売量が 30 千トであり、約 3% の市場占有率である。ジルコンの需要は、セラミック・タイル、陶器、衛生陶器等の釉薬用に約 52%、耐火物用に約 15%、鋳物用に約 15%、テレビブラウン管用に約 8%、エレクトロニクス用その他で約 10% と多岐に亙る用途で消費されている。

以上